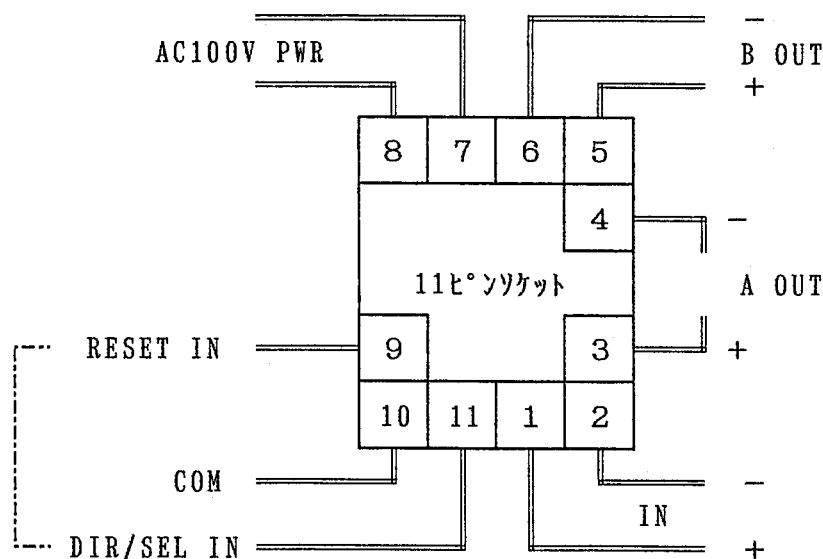


取扱説明書

形式	W A P - V P T - 2 5 C - 1
機能概要	0 ~ ±10 V 信号を2相90度位相差カウンタ用パルス列に変換します。
入力信号	DC 0 ~ ±10 V
極性切り替え入力	極性切り替え端子を短絡／開放でA相／B相出力の相順を入れ替えます。
リセット入力	リセット端子を短絡。短絡中はリセット優先で出力を停止します。
イニシャルリセット	リセットはアナログ入力が0 Vの時に行なってください。 電源投入後0.5秒以内に内部カウンタ等のリセットします。
出力信号	2相90度位相差出力。周波数46.88 kHzです
出力回路	オープンコレクタ出力
分解能	±2000カウント／0 ~ ±10 V
応答時間	500 μSEC以下（入力変化に対して出力が現れ始める時間）
精度	±0.1 % f s (23℃にて)
直線性	±0.1 % f s
周囲温度の影響	10℃の温度変化に対して±0.15 % f s
使用温湿度	-5 ~ +55℃ 90 % RH以下（結露ない事）
ゼロ、スパン調整	ゼロ調整±5 % f s、スパン調整±10 % f s
絶縁	入力／出力, RESET IN, DIR/SEL IN / 電源各々間100 MΩ (DC 500 Vメガー)
耐圧	入力／出力, RESET IN, DIR/SEL IN / 電源各々間AC 2000 V 1分間
消費電力	約5 V A
電源電圧	AC 100 V ±10 % (50 / 60 Hz)
※外形	W A Pシリーズ 外形図Ⅲ参照

端子配列

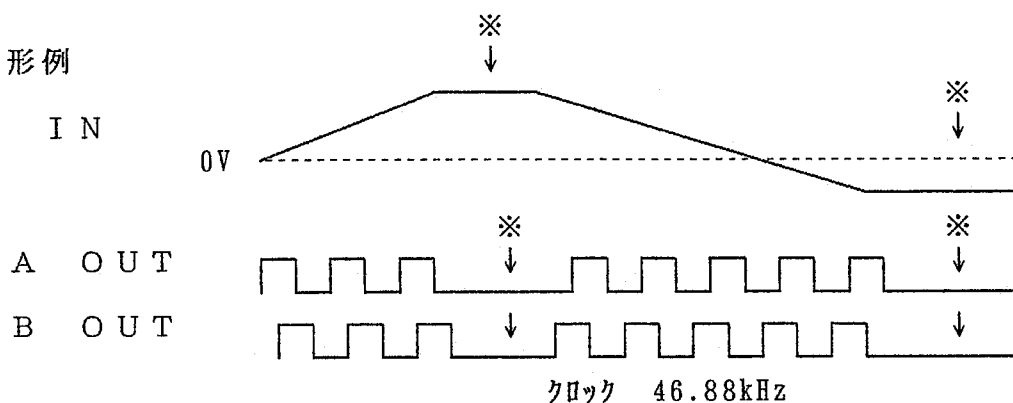


上図の様に電源と信号の入出力を結線して下さい。入力信号が0 Vの時に変換器の⑨⑩端子をオンにして下さい。次に、外部カウンタをリセットして下さい。入力信号の極性と外部カウンタの計数結果に応じて⑪⑩端子をオンまたはオフして下さい。ZERO / SPANボリュームは出荷時に調整済みですが、校正の場合は入力信号が0 Vの時に外部カウンタの計数値が0000となる様調整し、入力信号が±10 Vの時に外部カウンタの計

数値が ± 2000 となる様調整して下さい。銘板のモニター端子穴にテスト棒を差し込むと入力信号が $0V$ の時にモニター出力が $0V$ 、入力信号が $\pm 10V$ の時に逆極性の約 $9.75V$ が出力がされている事がチェックできます。

尚外部に接続される計数カウンターは本機の出パルス周波数に回答できるものをご使用ください。

動作波形例



※印の入力一定の状態では出力パルスはアップとダウンを交互に繰り返しています。